

1 研究主題

意欲的に学び、思考する生徒 ～考えの交流から深め合いを目指して～

2 研究の仮説

基礎的・基本的な知識・技能の定着により、意欲的な学習の取り組みにつながられるであろう。また、言語活動を通して思考する場面を設定することで読む力や書く力、説明する力等が育ち、互いの考えを交流し自分の考えを深めることもできるようになるであろう。さらに、心の成長が、学習を支える力になっていくであろう。これらのことが総合的に作用すれば「読解力向上」にもつながっていくものと考ええる。

3 研究の全体構想

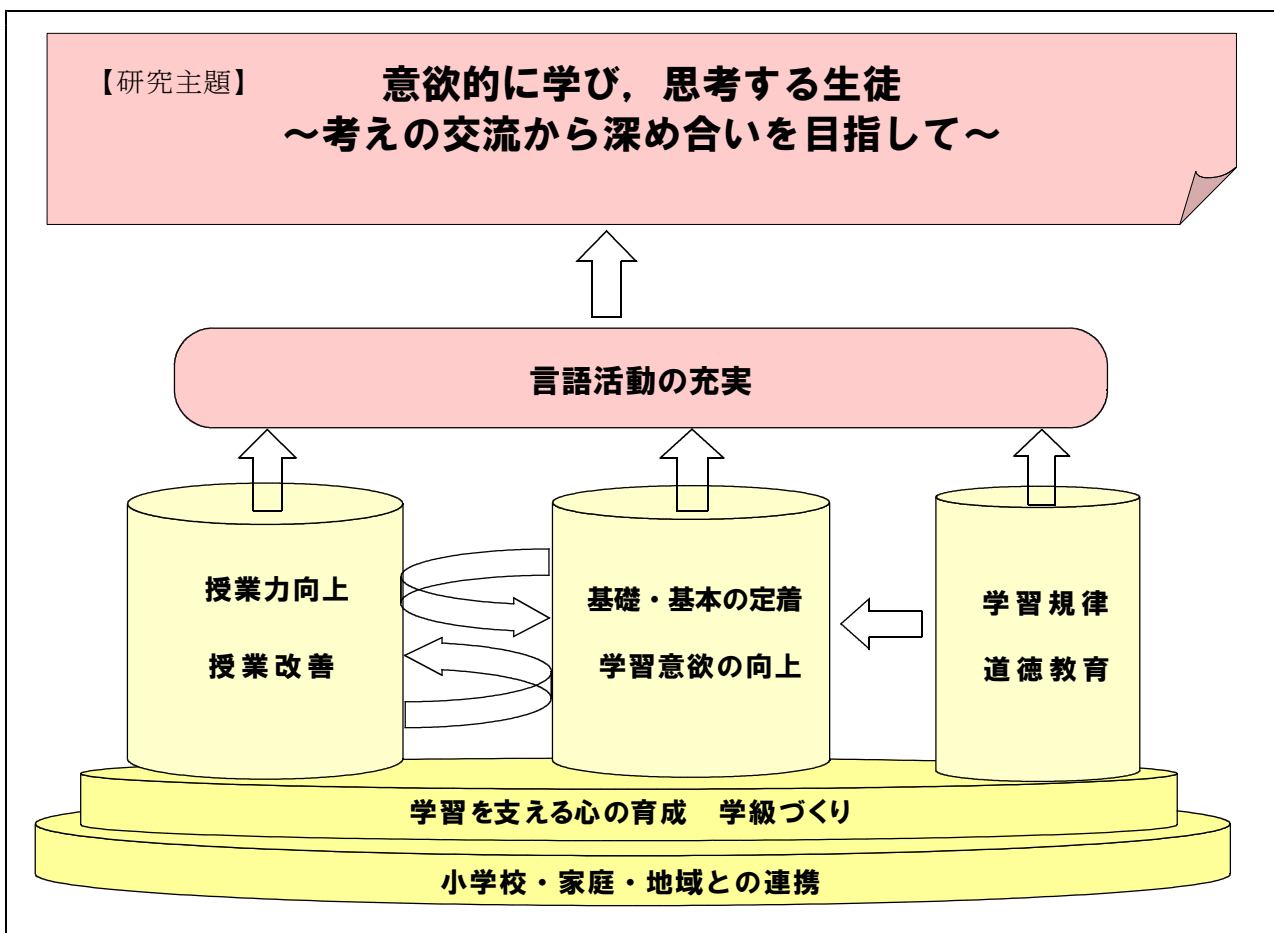
【教育目標】

自主的で創造的な高い知性と人間らしい思いやりのある豊かな情操を培い、強健な心身で実践力のあるたくましい南中生徒を育てる。

【目指す生徒像】

- ・基礎・基本を身につけ、興味・関心をもって学ぶ生徒
- ・思考を深め、考えを交流する生徒
- ・規範意識をもち、規律ある生活を送ることができる生徒
- ・思いやりの心をもち、自分や他者を大切にできる生徒
- ・読書に親しむ生徒

【構想図】



4 研究方針・具体的な方策

(1) 授業研究部会

①教科を超えた指導の視点

以下の授業像をどの教科でも共通して目指す授業像として、授業の工夫改善に取り組んでいく。また、研究主題である「思考する生徒」を育て、Ⅱ・Ⅲの授業像を目指すために、以下の①～③を重点的な手立てとして全教科で取り組み、言語活動を取り入れた授業を展開する。

---【目指す共通の授業像】-----

I わかる授業	・基礎・基本の習得と定着を図る ・ねらいを示し、つけさせたい力を明確におさえる ・意欲をもたせる
II 考える授業	・思考を促す課題を設定する（下記の3つの手立てを視点とする） 「①考えながら読む」「②考えを表現する」「③考えを交流する」 ・考える時間の確保
III 深め合う授業	・学びを深める交流の場を設定する ・学習形態を工夫する（ペア・少人数のグループ・一斉） ・学級づくり

---【思考する生徒を育てるための3つの手立て】-----

「①考えながら読む」 「②考えを表現する」 「③考えを交流する」

②各教科における授業力の向上

- ・研究授業への取り組み…指導案検討、模擬授業、授業整理会（教科の枠を超えたものとする）
- ・各学期の校内授業交流…お互いに授業を参観しあうことにより、授業力向上につなげる。

③教科部会の充実

教科の中でつけさせたい力や具体的な方策を確認し、それぞれの学年に応じて段階を踏みながら学習を進めていけるように協議する。また、アンケート等を通して生徒の感想等を把握し、授業改善に向けての話し合いを行う。

(2) 学習指導部会

①テスト分析

定期テストや学力テストの分析を行い、生徒の現状や課題を共通理解としてもちながら、学年や教科の担当として、生徒に力をつけ、学ぶ意欲を高めることにつなげられるようにする。また、生徒向けにもテスト分析と今後の学習のポイントを掲載し、その後の学習に活かせるようにしていく。

②補充学習

授業の取り組みの様子や各テスト分析を受けて、長期休業中や放課後等を利用した学力補充のための補習体制を整える。

③学習規律・学習の意義

学習を支えるものとして、生徒の学習意識を高めるために、生徒指導部とも連携して、学校ぐるみで共通して取り組む。「学習アンケート」の項目にも取り上げて、重点化する。さらに、学ぶ意義についてもさまざまな機会を捉えて生徒と考え、伝えられるようにする。

④学習コーナーの設置

予定黒板の左上部に、教科から出された課題や案内を書き、生徒だけでなく学級担任にもわかるようにすることで、教科担当者と学級担任が連携をとりながら生徒に声をかけられるようにする。

⑤自学ノート

家庭学習の習慣を確立させるために、学習する内容のヒントを出したり、個に応じた課題を具体的に示したりすることで、自学ノートに取り組みやすいようにする。また、家庭や地域の小学校とも連携し、生徒の学習を支援できるように取り組む。

⑥朝読書の取り組み

1, 2年生を対象に実施。毎週木曜日には放送による読み聞かせも行っている。

(3) 道徳部会

心の育成や温かい学級づくりが、学習を支える基盤となるよう、道徳教育推進教師が中心となり、各学年の道徳担当者と共に、段階を踏まえて道徳教育を推進し、充実させていく。共通して取り組む資料の選定や資料整備、校内研修会や授業参観等を通して授業研究・授業実践等に取り組む。

5 研究組織

